

出版情報登録センター

JPRO

Japan Publication Registry Office



出版情報登録センターとは？

- *「出版者の刊行情報を網羅的に収集・管理し、効率的に取次会社・書店へ伝達する。また、出版活動の根本である著作権の登録・公示も可能とする」出版情報登録センター（JPRO）は、この課題実現のため、2014年12月、出版界の総意で誕生しました。
- *JPROが対象とするのは、書籍、コミックス、ムック、そして定期誌（2021年1月以降）。そして、いわゆる書誌のみならず、取次会社が必要とする搬入・輸送関連情報、書店向けの販促情報も扱います。
- *商品形態としては、電子化はもちろん、今後、オンデマンド、音声コンテンツなども加わります。
- *これらJPRO情報は、EDIの世界標準ONIXでの配信のみならず、ポータルサイト「BooksPRO」を通じて、書店員や図書館員も直接閲覧可能です。また、検索サイト「Books」を通じ、基本書誌は一般読者にも開放されます。
- *現在、情報登録している出版社は約2000社、登録点数は260万点をこえ、毎日数百点の近刊情報が上積みされています。日本の出版業界の「情報動脈」JPROは、皆さまと一緒にこれからも成長を続けます。

<https://jpro2.jpo.or.jp/>

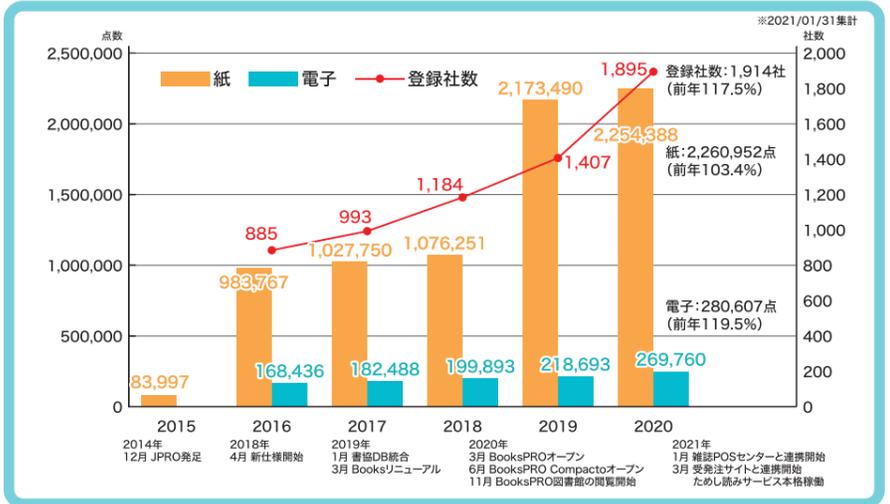
出版社自身が書誌・書影・販促情報・流通情報をJPROに登録することは取次会社、書店、そして読者に対する責務です

出版情報登録センター（JPRO）は、2011年4月に発足した近刊情報センターを、2014年12月に発展的に改組して設立されました。その目的は、書誌・書影情報を、網羅的に整備して、出版物の販売・普及に寄与すること、取次会社や書店の効率化に寄与すること、書誌・書影情報を業界各所に一斉に配信する仕組みをつくることで、出版社の実務を効率化することです。今後は、注文サイトとの連携、定期雑誌の登録、同一コンテンツ情報の紐づけなど出版業界のインフラとして活用が広がっていきます。

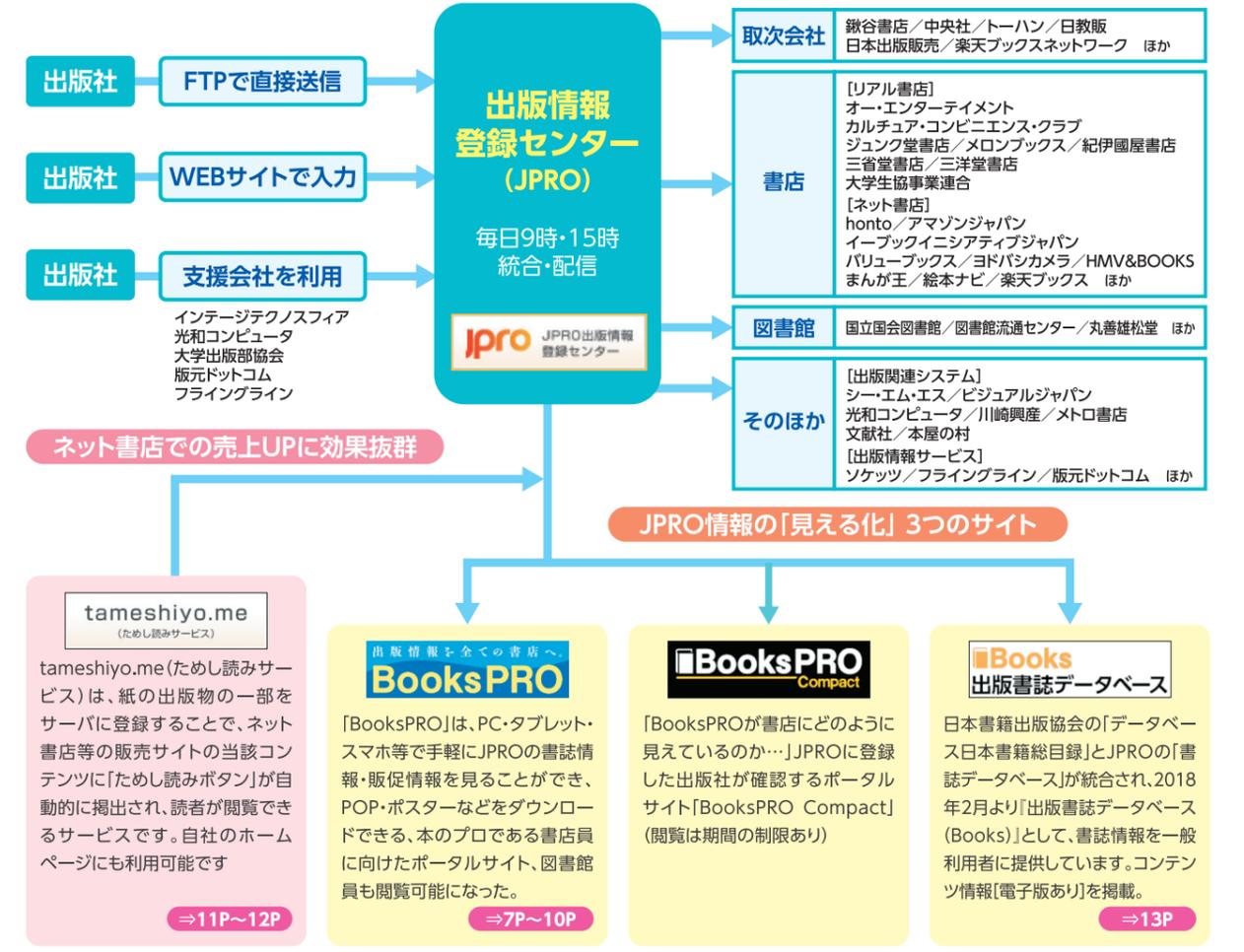
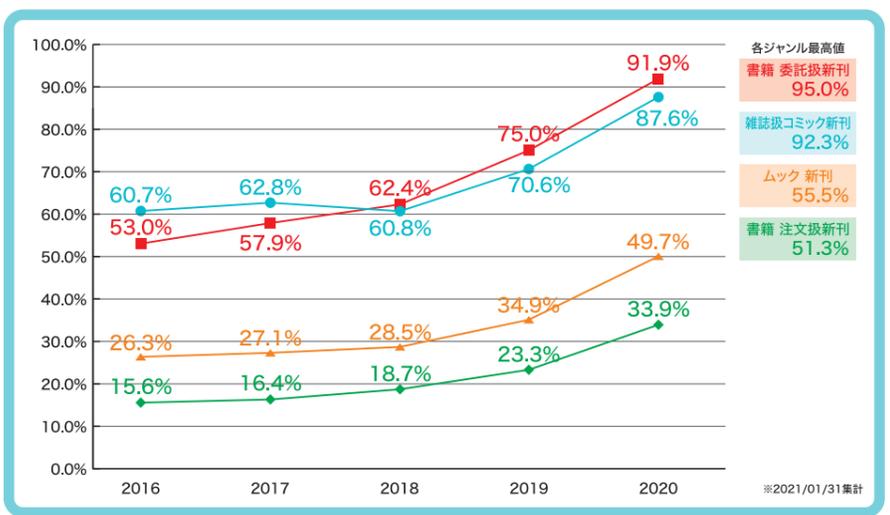
JPROは一元管理された業界の共有ツールです。「使いこなす」ことで価値あるものとなり販売から読者サービスまで活用が拡大しています

2,000社を超える利用出版社から送信された書誌・書影・販促情報・流通情報は、いったん出版情報登録センター（JPRO）で統合処理して、毎日9時と15時に、受信社に公開しています。取次会社、リアル書店、ネット書店、図書館、本の情報サイトなどに公開して利用されています。近刊の予約販売、取次会社や書店での仕入れ検討に、図書館での選書などに使われています。最近では、出版物の輸送効率化のための事前情報として活用されるなど、利用が活発になっています。また、情報の修正に対応するために、既刊の更新情報の配信も始まりました。

JPRO 基本書誌情報 登録点数・登録社数



JPRO ジャンル別 新刊カバー率



書誌・書影・流通情報を出版社から収集して業界各社に毎日配信
「BooksPRO」「Books」で価値のある情報が検索できます

JPROに登録すれば

リアル書店・ネット書店・取次会社に
情報が公開されます!

JPROを活用して1冊でも多くの本を売りましょう!
そのために重要なのは「3つのQ」

情報を Quickly! 早く
Quality! 質を高め
Quantity! 大量に

JPROでできること!

リアル書店・ネット書店でのデータ活用

- 予約注文への書誌情報活用
- 商品ページへの書影、画像利用
- 店頭での予約受付への活用
- 仕入のための情報利用
- 読者の購買へつなげる販促情報活用

取次会社での活用

- 帳合先書店への情報提供
- 書店向けシステムへの情報提供
- 仕入窓口にて事前情報活用
- 業量平準化への事前情報活用
- 広報誌への情報活用

BooksPROサイト

- 近刊カレンダーへの活用
- 商品ページへの活用
- 販促情報の表示
- 販促材料ダウンロード
- 重要事項連絡、お知らせ

Booksサイト

- 一般読者向け検索サイト『Books』への活用
- ※詳しくはP.13を参照

JPROホームページトップ画面

The screenshot shows the JPRO homepage dashboard with the following sections:

- 基本書誌情報**: 新規登録, 登録済み情報の修正, Excelのアップロード. 登録の目安: 2ヶ月前(推奨)~1ヶ月前
- ラインアップ/新刊案内**: 新規登録, 登録済み情報の修正, Excelのアップロード. 登録の目安: 前々月14日
- 取次広報誌**: 新規登録, 登録済み情報の修正, Excelのアップロード. 登録の目安: 前月12日
- 取次搬入情報**: 新規登録, 登録済み情報の修正, Excelのアップロード, 書籍進行フォーマットのアップロード. 登録の目安: 前々月中旬(コミック・ムック), 前月中旬(書籍)
- 物流関連情報**: 新規登録, 登録済み情報の修正, Excelのアップロード. 登録の目安: 14日前(コミック・ムック), 10日前(書籍)
- 図書館選書**: 新規登録, 登録済み情報の修正, Excelのアップロード. 登録の目安: 1か月前
- BooksPRO**: 登録済み情報の修正, JPROジャンルのアップロード, サンプル画像のアップロード. 登録の目安: 可能な限り速やかに
- 電子書籍**: 新規登録, 登録済み情報の修正, Excelのアップロード
- 販促情報の登録**: 新規登録, 登録済み情報の検索

JPRO活用のポイント!

ネット書店ではJPROの書誌情報と
書影画像が欠かせないものになっています!
購買率を上げるには…

書影・画像の登録

ネット書店での購買比率は、モバイル7割PC3割です。つまりスマホなどでの閲覧向けに、なるべく多くの書影、画像を早く登録することです! 拡大してもぼやけない解像度にすることも重要です!

内容紹介の登録

1300文字まで登録できます。文字数が多く、読みやすい文章を工夫して登録しましょう。キーワード検索にひっきりやすいワードをたくさん盛り込むことがポイントです!

書店向けサイト『BooksPRO』には
JPROで登録した情報がそのまま利用され
全国の書店で活用されています!

サンプル画像の登録

書影の決定が発売前ギリギリになるケースが多いため、書影が決まるまで書店に伝えたいサンプル画像や目次や本文な本の内容がわかる画像を登録することで予約注文増売につながります! 書影が登録されると自動的に差し替わります!

JPROジャンルの登録

JPROジャンルを正確にたくさん登録することで、書店員が検索しやすくなり、検索のヒット率が上がります!

販促情報の登録

書店に伝えたい販促促進情報をJPROで登録すれば、BooksPROで公開され書店が活用することができます! 販促材料も登録できるので、POPやチラシをアップロードしたり、公式サイトリンクを貼ったり、書店店頭で活用してもらいたいものをどんどん登録しましょう!

ためし読みの登録

ためし読みを登録することで書店に本のイメージが伝わりやすく読者の購入にもつながります!

書誌情報・書影画像・流通情報を 出版社から収集し業界各社に 毎日、提供を行っています！

JPROでは「基本書誌情報」に加え「販売先向け情報」「取次搬入情報」「図書館選書情報」「販促情報」「出版権情報」の登録・公開ができます。JPROに登録すれば複数のリアル書店・ネット書店・取次会社などに情報が公開されますので、何度も同じ情報を個別に登録する必要がなく、登録作業の負担軽減にもつながります！
登録は、用途別に完了できるインターフェースになっており、また、用途ごとに必須項目がわかりやすく表示されています。なるべく早い時期に正確な情報を登録することで増売につなげることができます。
近刊情報・既刊情報、販促情報を貴社の販売促進などに是非ともご活用ください！

JPROでは以下の項目が登録できます！

■出版情報項目利用一覧表

基本書誌情報	1	情報ステータス	39	特価本体価格	取次搬入情報	9	製本所	
	2	ISBNコード	40	特価期限		10	結束数	
	3	JANコード(13桁 雑誌)	41	税(税率) ※デフォルトで「通常税率 8%」を設定		11	結束種類(シングル・ダブル) ※定期誌	
	4	JP-eコード	42	通貨単位 ※デフォルトで「¥」を設定		図書館選書情報	1	受賞情報
	5	雑誌コード	43	再版			2	読者書き込み
	6	刊行形態(週刊・月刊等)	44	発行予定日			3	「読者書き込みあり」の場合のページ数
	7	Cコード	45	発売協定日			4	制作特記項目
	8	ジャンルコード	46	発行年月日			5	付属資料(CD/DVD)の館内外貸出可否
	9	書名	47	対象読者			6	装丁者名
	10	書名巻次・誌名巻次	48	成人指定 ※デフォルトで「無し」を設定			7	担当者コメント
	11	書名 読み	49	内容紹介 取次広報誌掲載用			8	帯内容
	12	月号・号数表記	50	内容紹介 オンライン書店表示用			9	類書・競合書
	13	サブタイトル	51	内容紹介 これから出る本掲載用(書協会員専用)			10	別送資料
	14	サブタイトル 巻次	52	内容紹介 図書館選書用			11	児童書詳細ジャンル ※児童書の場合
	15	サブタイトル 読み	53	目次			12	本文活字の大きさ ※児童書の場合
	16	レーベル	54	キーワード			13	ルビの有無 ※児童書の場合
	17	レーベル読み	55	付録・付属資料の有無 ※デフォルトで「無し」を設定			14	マンガの割合 ※コミックエッセイの場合
	18	レーベル 巻次	56	付録の内容	15		特殊な装丁(コテックス装・天アンカット等)	
	19	シリーズ名	57	画像	16		しかけの有無(穴あき・ポップアップ等)	
	20	シリーズ名 読み	58	長期切情報	17		その他特記事項(改題・新装版・その他)	
	21	シリーズ巻次	59	全国書誌番号	販促情報	1	販売促進情報タイプ	
22	完結フラグ	60	NDC分類	2		販売促進配信方法		
23	各巻書名	販売先向け情報	1	情報解禁日		3	保存可否	
24	各巻書名 読み		2	取次会社扱い		4	掲載期間	
25	版表示		3	配本の有無		5	ヘッドライン	
26	旧版商品ISBN情報		4	初回送品条件		6	内容	
27	配本回数		5	注文・申込締切		7	その他	
28	セット商品分売可否 ※デフォルトで「単品分売不可」を設定		取次搬入情報	1		初版予定部数	8	販促材料
29	著者名1			2	取次搬入予定日	出版権情報	1	出版権情報
30	著者名1 読み			3	取次搬入予定日(AM/PM) ※定期誌			
31	著者名1 区分	4		返品期限・L表記 ※増刊・別冊				
32	著者略歴(紹介)1	5		綴じ ※定期誌				
33	言語設定 ※デフォルトで「jpn」を設定	6		帯(ムック)				
34	判型	7		カバー(ムックの場合)				
35	判型(実寸:縦×横×厚さ)	8		重量				
36	ページ数							
37	本体							
38								

JPROホームページ 〈基本書誌情報登録画面〉

Web入力社向けの登録画面です。
「基本書誌情報」以外にも「取次搬入情報」や「販促情報」など用途別に登録画面が分かれています。

このページについて

- 必須項目：用途別タブで入力必須のもの。入力もれがある場合は確認画面でエラーが表示され登録が完了できません。
- 推奨項目：出版情報の有効活用のため、用途別タブで入力が推奨される項目。

情報解禁日 (取次以外の情報受信社への情報提供を開始する日)

クリックまたはタップして、カレンダーから選択してください。

情報ステータス、ISBNコード、Cコード、ジャンルコード

情報ステータス ** 確定前 | ISBNコード ** 978-4-9950010- | | |

該当するものを選択してください。本体が決定したら「確定」にしてください。

ジャンルコード | 該当するものを選択してください。

情報ステータス!

『確定前』『確定』『削除(発刊中止)』
3つのステータスがあり、
情報の精度、
状態を表します。

内容紹介!

ネット書店の
商品ページ向け
内容紹介1300文字
まで登録できます。

**書影・
その他画像!**

書影1枚、その他
画像5枚まで
登録できます。

■ 内容紹介・目次

内容紹介 取次広報誌掲載用
62文字以内。

内容紹介 オンライン書店表示用 **
1300文字以内。
ホームページのURL、またセミナー等への勧誘の文言は不可。

目次 *

■ 画像(書影、その他1~その他5) *

書影 (ISBN.jpg) | その他1 (ISBN.in01.jpg) | その他2 (ISBN.in02.jpg)

ファイルをドラッグ&ドロップしてください。または、ダイアログから選択する

設定の取消

その他3 (ISBN.in03.jpg) | その他4 (ISBN.in04.jpg) | その他5 (ISBN.in05.jpg)

出版情報をすべての書店へ
BooksPRO
https://books.pro.jp/

BooksPROは、近刊・既刊を一堂に集めた本のプロ向けポータルサイトです。雑誌POSセンター（日本雑誌協会）と連携し、雑誌情報も掲載します。共有書店コードをお持ちの書店、並びにISIL（図書館及び関連組織のための国際標準識別子）をお持ちの図書館・博物館・文書館のスタッフであれば、誰でも閲覧することができます。出版社向けにBooksPRO Compact(https://compact.bookspro.jp/)も用意しました。

毎日毎時間変わる情報をより早くより見やすく
トップページはBooksPROの設計思想すべてを凝縮

BooksPROは、膨大な商品データからお客様が探している本・出版社が売りたい本を書店員が迅速的確に探せるよう、設計されています。タイトルや著者名からだけでなく、任意のキーワードから検索できる機能。近刊カレンダー。そして1時間単位で更新※される販促情報。情報が多すぎる時は、ジャンルタブによる絞り込みも可能です。
※販売情報の更新は23時～翌朝5時まで休止します

BooksPROの主な特徴

- 1 発売予定日カレンダー機能で、いつ、どんな本が発売されるのかがすっきり
- 2 近刊も既刊も。任意のキーワードでシームレスに検索
- 3 ジャンル絞り込み機能で必要な情報だけをピックアップ
- 4 メディアで紹介予定から重版まで販促情報も充実
- 5 その場で注文！ s-book、Webまるこ、WebHotLine、Bookインタラクティブ、一冊！ 取引所注文サイトなどとも連携

BooksPROトップページ

近刊カレンダー

日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31

※発売予定日は取次納入予定日 + 2日

これは便利!!
カレンダー形式
カレンダー形式で
商品点数が
一目瞭然!!

販売情報も
充実
販売促進に
役立つ情報も
キャッチアップ!!

ジャンルタブをクリックするだけで簡単絞り込みムックや定期誌・増刊の情報もチェックできます。

あの本はいつ出るのか、値段はいくらくらいなのかフリーキーワード検索にももちろん対応。

書影入りの商品詳細ページ より詳しい本の情報を掲載 注文サイトと連携し、 1クリックで各サイトに遷移

書影のほかに最大5点までの画像が掲載され、中にはためし読みができる本も。
また、s-book、Webまるこ、WebHotLine、一冊！取引所と連携し、これらのサイトに掲載されている
本は、自動的にバナーが出て1クリックで当該商品ページに遷移します。

※2021年6月にはBookインタラクティブも連携予定

1時間ごとに更新される どこよりも早い販促情報 注文サイトとの連携で、営業・販促・ 受発注のDXを実現します

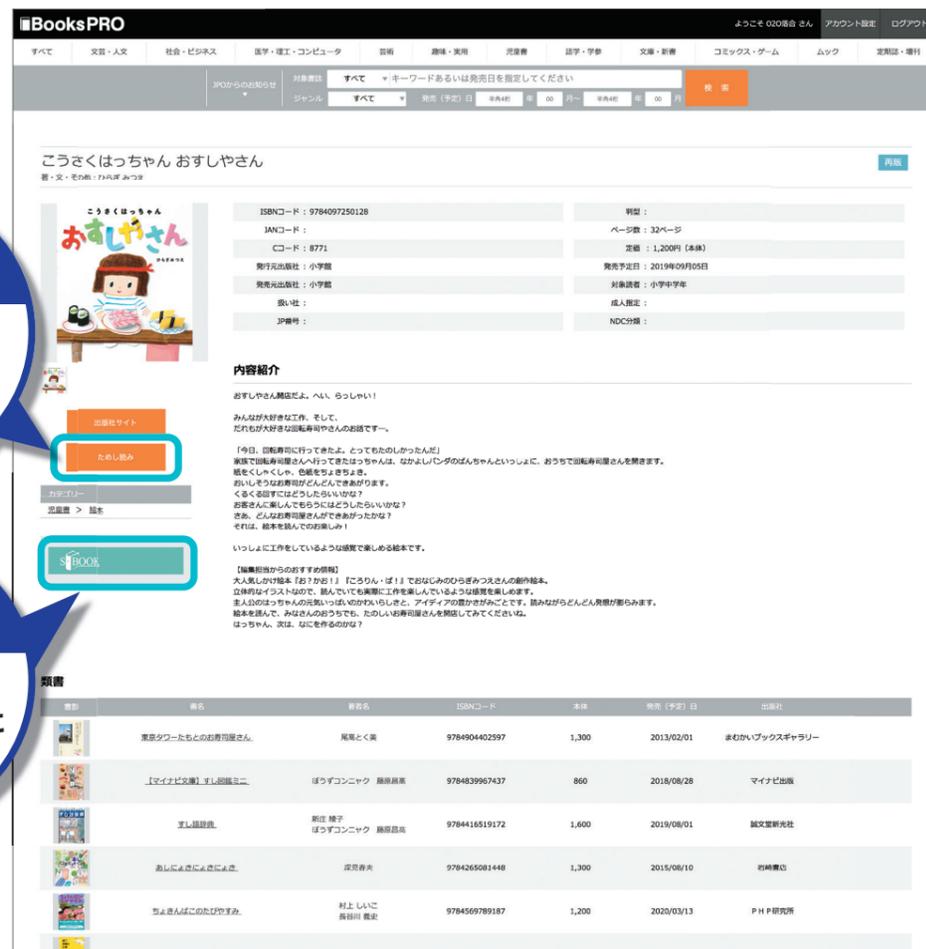
販促情報は、新聞広告掲載情報や受賞情報、重版情報、拡材などに加えて、メディアで紹介された本
の情報なども1時間ごとに更新されます。

またs-book、Webまるこ、WebHotLine、一冊！取引所と連携し、バナーをクリックすると、複数冊で
あっても当該の販促情報に掲載された書籍が注文できるようになりました。

これまでファックスでやりとりをしていた販促情報も、BooksPROで完結できるようになります。

※2021年6月にはBookインタラクティブも連携予定

商品詳細ページ



ためし読み
ボタン

「ためし読み」が
できる本は、
ここにボタンが
表示されます。

注文サイト
との連携①

注文サイトの
当該書籍のページに
遷移します

販促情報詳細ページ



注文サイト
との連携②

注文サイトの
当該書籍のページに
遷移します

読みたい! 買いたい! につなげる 「ためし読み」

書籍や雑誌の一部をサーバに登録することで、ネット書店等の販売サイトの当該コンテンツに「ためし読みボタン」が自動的に掲出され、購入者が中身を知るためのサービスです。主要ネット書店、「BooksPRO」「Books」に加え、自社のホームページへのリンクも可能です。tameshiyo.meは、JPROの有料オプションサービスで、ご利用には加入申込書の提出が必要です。詳細は<http://jpo.or.jp/tameshiyome/>をご覧ください。

料金表

利用ディスク容量 (GB)	コンテンツ提供料金 (月額)	(参考例)	
		単価 (/タイトル・月)	想定登録可能タイトル数(※)
~0.5	2,000円	20.00円	100
~2	4,800円	12.00円	400
~4	8,200円	10.25円	800
~6	11,200円	9.33円	1,200
~8	13,800円	8.63円	1,600
~10	16,000円	8.00円	2,000
~20	29,000円	7.25円	4,000
~30	40,000円	6.67円	6,000
~40	53,000円	6.63円	8,000
~50	61,000円	6.10円	10,000
~75	83,500円	5.57円	15,000
~100	101,000円	5.05円	20,000
~125	126,000円	5.04円	25,000
~150	151,000円	5.03円	30,000
~175	176,000円	5.03円	35,000
~200	201,000円	5.03円	40,000

※登録可能タイトル数は、1タイトルあたり、10ページ、5MBと想定したタイトル数でページ数により変動します。

コンテンツ提供料金の課金方法

暦月の初日からその月の末日までを1ヵ月とし、その1ヵ月の中の利用ディスク容量のピーク値を当該月のコンテンツ提供料金とします。

コンテンツ提供料金の請求

コンテンツ提供料金は、加入月を無料とし、翌月から12月末までの月額料金を合算し、2月にまとめて請求します。

団体加入

団体加入 (JPOが認めた業界団体、JPRO関連事業者) の場合は、別途お問い合わせください。

1 ワンソース・マルチユース

ここにためし読みコンテンツをアップすると、
①主要ネット書店販売サイト
②BooksPRO(全国の書店・図書館の仕入・選書担当向けポータルサイト)
③Books(一般読者向け本の検索サイト)
に翌日には自動連携

2 自社サイトでの活用

自社サイトでの本の紹介ページに「ためし読み」を自動連携でき、一押しのコンテンツのためし読み等、各種フェアやキャンペーンに利用が可能

3 強力な販売促進ツールとして売上アップ!

ためし読みコンテンツによる増売の可能性⇒1.8倍の売上効果あり
※ためし読みがあるコンテンツと、ないコンテンツで比較(あるネット書店の1年間の実績データ)

4 アクセス状況の統計データを提供(2021年6月頃を予定)

コンテンツへのアクセス状況の集計データを提供。各種マーケティングへの活用が可能。

5 ディスク利用量に応じた安価な料金

アップロードしたコンテンツのディスク利用量に応じた月額課金で安価な料金体系

6 導入コストはゼロ 日常のアップロード作業も簡単

導入にあたって、初期コストはゼロ。(自社サイトとの連携は、別途費用がかかる場合あり) 日常のアップロード作業も非常に簡単。

出版社

出版社がログインして
コンテンツを登録



ISBNもしくは雑誌JANコードをパラメータとした連携サイト用の独自のURLを発行

・主要ネット書店等
・自社サイト、SNS
等でURLにリンクして利用

Books

一般読者向け発刊済みの書籍の検索サイト。出版界唯一の公開出版情報データベース。

BooksPRO

全国の書店・図書館の仕入・選書担当向け新刊・既刊の書籍・雑誌の書誌情報や販促情報のポータルサイト

自社サイト



主要ネット書店等



honto

(大日本印刷株式会社)

Honya Club

(日本出版販売株式会社)

e-hon

(株式会社トーハン)

Rakutenブックス

(楽天株式会社)

7ネットショッピング

(株式会社セブンネットショッピング)

HMV&BOOKS

(株式会社ローソンエンタテインメント)

紀伊國屋書店ウェブストア

(株式会社紀伊國屋書店)

KNOWLEDGE WORKER

(丸善雄松堂株式会社)

その他の特徴

マルチデバイス
対応

同じURLでPC、タブレット、スマホ等マルチデバイスに対応

登録は様々な
フォーマットに対応

PDF、JPEG、PNG、固定Epubフォーマットに対応

SNSへの
拡散機能

Facebook、Twitter、LINEへの拡散するための機能を保持

続々
拡大中!

「本をさがす」だけではなく、「コンテンツをさがす」にも変化
 出版書誌データベース『Books』には
 多くの期待が寄せられています。
<https://www.books.or.jp/>



【ONIX(ONline Information eXchange)とは】
 EDItEUR(国際出版EDI標準化機構)が、BISG(Book Industry Working Group, US)とBIC(Book Industry Communication, UK)との密接な協業により開発したデータ交換仕様。国際標準となっている。

【EDItEUR(国際出版EDI標準化機構)とは】
 出版EDIに関する標準化策定の国際機関で本部はロンドンにあります。日本においてはJPOが国内委員会に認定されていて、JPOが日本を代表して国際本部との交渉に当たっています。

『Books』の歴史 ～書協時代～

JPOの書誌情報サイトである『Books』は、日本書籍出版協会が創立時から手がけた『日本総合図書目録』の流れをくんでいます。書協は冊子体の総目録を『2001年版』までが刊行しましたが、1997年に開設した書籍検索サイト『Books』へと移行しました。しかし、当時の『Books』は現在の『Books』とは違い、入手可能な書籍を掲載するwebサイトでした。現在の『Books』は2019年にJPROに登録された出版情報と書協の『Books』が統合された形で出来上がりました。

～今の『Books』～

そもそもJPOの出版情報収集は、書協と別個に進んだわけではなく、書協が1976年に創刊した『これから出る本』のデータ版として、2011年から稼働した「近刊情報センター」に始まります。これは2014年の著作権法改正にともない、権利情報を含む出版情報の登録・配信システムを出版界自らが構築・運営するJPRO(出版情報登録センター)に発展しました。JPROは、さらに取次会社の必要とする搬入などの情報、図書館選書向けの情報などを取り込み、出版業界の基盤としての体制が整ったため、書協が持つデータベースを統合、同時に『Books』もJPROの運営となったのです。2020年には書店向けのポータルサイト『BooksPRO』も派生しました。今の『Books』は、こうして入手可能か否かに関わらずJPROデータベースにある既刊の書誌を全て表示しますが、JPROへの電子書籍登録に伴い、ISBNがマッチングする書誌には「電子版あり」が表示されることとなりました。これは、国会図書館の「デジタル化資料の図書館等への限定送信」にも対応するものです。「電子書籍として流通している資料は入手可能と見なされ、送信対象

外となります。書誌情報・権利情報に加え、入手可能情報を表示することは2014年の参議院文教科学委員会の著作権法改正に対する付帯決議に対応した、出版広報センターの「出版情報の基盤整備に尽力する、」を実践するものです。加えて、2020年3月からテスト運用され、2021年3月から本格稼働した『試し読み』もこのサイトに実装されています。

～これからの『Books』～

著作権法の権利制限規定や読書バリアフリー法に関する対応などで、書誌情報に加えて出版情報を表示出来る『Books』には多くの期待が寄せられています。現在、予定されている追加表示項目は、「入手可能情報、」として「電子版あり、」に加えて「オンデマンド版あり、」また、「読書バリアフリー法、」対応として「音声読み上げ対応の電子書籍あり、」を予定しています。また、出来れば、電子版の底本として登録できるISBN(登録書誌と自動連携して電子版ありを表示する)を複数登録可能として、同一コンテンツであれば、単行本版・文庫版・二次文庫版も表示可能としたいと考えています。また、国立国会図書館の電子納本収集除外となる「リポジトリ、」収蔵書誌表示にももちろん対応します。とはいえ、『JPRO』に関しても『Books』に関してもそれ自体はインフラでしかありません。機能は追加出来ますが、機能を活用するのは出版社です。活用を御願います。

年表

- 2002.04.12 日本出版データセンター(JPDC)として設立
- 2003.02.19 「出版在庫情報整備研究委員会」を設置
- 2004.12.08 「データセンター」を「商品基本情報センター」に名称変更
- 2009.06.16 「一般社団法人日本出版インフラセンター(JPO)」と名称変更
- 2011.04.01 「近刊情報センター」発足
- 2014.12.01 「出版情報登録センター(JPRO)」発足
- 2015.07.01 「近刊情報センター」「商品基本情報センター」を廃止「出版情報登録センター」システム運用開始
- 2017.12.08 「Thema研究委員会」を設置
- 2018.04.01 「日本書籍出版協会DBセンター」と業務統合
- 2018.04.23 出版情報登録センター(JPRO)新仕様「第2フェーズ」を開始
- 2019.01.31 「データベース日本書籍総目録」とデータベース統合
- 2019.03.25 出版書籍データベース(略称:Pub DB)オープン
- 2019.10.01 「JPRO電子出版物登録無料キャンペーン!」開始
- 2020.01.06 出版書籍データベースの略称をBooksに変更
- 2020.03.10 書店向けポータルサイト「BooksPRO」オープン
- 2020.06.05 出版社確認サイト「BooksPRO Compact」オープン
- 2020.10.01 JPRO入力講座、初オンライン開催
- 2020.12.24 「JPRO・BooksPRO」がJEP A電子出版アワードの選考委員特別賞を受賞
- 2020.12.31 「出版情報登録センター(JPRO)」基本書誌登録数250万点突破
- 2021.01.18 「BooksPRO」ついに雑誌情報も閲覧可能に!
- 2021.02.22 「BooksPRO」2021年 新機能と活用術動画公開 はじまる
- 2021.03.01 tameshiyo.me(ためし読み)サービス本格運用スタート

参加資格

【登録単位(流通される商品に基づくコード単位)】

- ①紙の出版物 ISBNコード単位
- ②電子の出版物 JP-eコードまたは ISBNコード単位

【登録資格要件】

- ①出版者であること(出版者記号を取得しその義務を果たしていること)
 ※出版者の義務はJPO「ISBNコード使用規約」で規定
- ②「出版情報登録料課金承諾書」を提出していること
 ※JPOのHPから承諾書の用紙をダウンロードできます

出版情報登録センターの登録料についてのご案内
 2020年1月1日

- 1. 登録料**
 出版情報提供者が出版情報登録センターを利用するにあたり、登録料は刊行(予定)書籍1点につき、紙およびパッケージ型の場合1,000円(消費税別)、電子書籍の場合200円(消費税別)とします。
- 2. 登録料の請求主体**
 登録料を請求する主体はJPOであり、「5. 支払方法」にあるように取次会社等は請求・集金業務の委託先です。
- 3. 登録料課金の継続または終了**
 課金対象期間は毎年1月1日から12月31日までの一年間とし、年度内に課金承諾を終了する旨の文書による申し出がない場合は、翌年度以降も自動継続するものとします。
- 4. 請求対象商品の算出期間**
 請求対象商品の算出期間は毎年1月1日から12月31日までの1年間とし、期間内に登録された商品点数に基づき請求額を確定します。
- 5. 支払方法**
 支払いは、JPOの課金徴収業務委託先である取次会社等が、毎年2月末に、取次会社等によって支払控除(相殺)することにより行われます。取次会社と取引のない出版者については、JPO直接またはJPOが依頼する代行会社から1月に請求します。

出版情報登録センター 利用規約

一般社団法人日本出版インフラセンター

2018年4月1日制定

2020年3月1日改定

2020年3月13日改定

第1条(規約の適用)

本規約は、「出版情報登録センター」(以下JPROという)で取り扱う、書誌情報等(詳細は別掲の「出版情報項目利用一覧表」に記載)。以下「出版情報」というを提供する出版者(以下「提供者」という)並びに、出版情報を利用する取次会社、書店等、その他事業者(以下「受信者」と総称する)と、一般社団法人日本出版インフラセンター(以下JPOという)との権利義務関係を定めることを目的とし、提供者並びに受信者とJPOとの間のJPROの利用に関わる一切の関係に適用されます。ただし、出版情報の新たな利用形態が生じた場合、JPOは本規約を補充する附則を制定できるものとします。

第2条(提供者の定義・資格)

- (1) 提供者は、JPO図書コード管理センターより出版者記号を取得し、その義務を果たしている出版者でなければなりません。
- (2) 提供者は「出版情報登録料課金承諾書」及び「利用申込書」に必要事項を記載し、JPOに提出しなければなりません。

第3条(受信者の定義・資格)

- (1) 本規約に規定する「受信者」とは、以下の適格を有する者をいいます。
 - ①「取次会社」とは、自社で物流機能を持ち、書店等への出版物の卸売りを主たる業務とするものをいいます。
 - ②「書店等」とは、個人向け、法人・団体向けを問わず出版物の最終需要者向け販売を業とするものをいいます。
 - ③「その他事業者」とは、取次会社・書店等以外の事業者であってJPOの会員又は賛助会員として登録されているものをいいます。
- (2) 受信者の受信できる情報の範囲は、上記事業内容別に異なっており、詳細は「出版情報項目利用一覧表」に記載します。
- (3) 出版情報の受信を希望する者は、JPOが定める「利用申込書」に必要事項を記載し、JPOに提出しなければなりません。

第4条(提供情報の目的・用途及び利用の制限)

- (1) 提供者はJPOに対し、対象の出版物の販売促進を目的として、出版情報をJPROが使用し、またJPROを通じて受信者に利用させることを許諾します。その許諾は非独占で、受信者が第三者に情報を利用させること、また提供者の意図を損なわない範囲で、受信者が情報を要約・編集することを含むものとします。
- (2) JPOは、別掲の「出版情報項目利用一覧表」に則り、受信者である取次会社、書店等、その他事業者の事業目的・用途に応じた出版情報を提供するものとします。
- (3) 提供者は、流通において必要な場合は、出版情報に情報解禁日を設定することができます。
- (4) 受信者は、第三者に出版情報を利用させ、また提供者の意図を損なわない範囲で、自らの責任で出版情報を要約・編集することができます。

- (5) 上記(3)の情報解禁日付きの出版情報の受信者は、解禁日までは取次会社のみとし、取次会社はその業務及びその管理責任者をJPOに予め申告するものとします。管理責任者は解禁日まで社内外に情報が漏洩しないよう、厳重に管理しなければなりません。
- (6) 取次搬入情報の受信者である取次会社は、取次搬入情報をJPOに予め申告した業務のみで利用し、社内も含め第三者に利用させ、または開示することは出来ません。
- (7) 広報誌利用など事前に準備を進める必要がある場合において、個別に提供者と取り決めがある場合は上記(5)(6)の限りではありません。

第5条(遵守事項)

- (1) 提供者は、正確な出版情報を提供しなければなりません。また、提供した出版情報に変更が生じた場合は、速やかに変更された出版情報を提供しなければなりません。
- (2) 提供者は、自らの出版情報の提供を代行・支援する事業者に対しても、前項の規定を遵守させなければなりません。
- (3) 受信者は、提供された出版情報を正確に使用し、出版情報に追加・変更・削除等があった場合は、速やかに反映するものとします。また、受信した出版情報が第4条の目的外に使用されないよう、適切に管理しなければなりません。
- (4) 提供者と受信者の両方の機能を利用する事業者においては、各々別個のアカウントを取得し、受信した出版情報を受信者としての機能以外には使用できない環境を確保しなければなりません。

第6条(受信の停止)

受信者が、継続して1年間出版情報の受信を行わない場合、又は、第4条若しくは第5条に違反した場合は、JPOの判断で当該受信者の受信権限を停止することがあります。この場合であっても、本規約第7条以下の条項は適用されます。

第7条(免責事項)

JPOは、提供された出版情報により提供者若しくは受信者、又は、当該出版情報を利用した第三者が被った損害に関して、一切責任を負わないものとします。

第8条(規約の変更)

- (1) 本規約は、変更に関し事前告知した上変更する場合があります。
- (2) 本規約が変更された場合は、出版情報登録センターホームページに表示します。変更表示後に、提供者においては出版情報の提供または変更を行った場合、受信者においては出版情報の利用を行った場合、本規約の変更に同意したものとみなします。

以上

一般社団法人 日本出版インフラセンター(JPO)

出版情報登録センター(JPRO)

センター名:出版情報登録センター

英文表記:Japan Publication Registry Office

略称:JPRO

〒101-0051 千代田区神田神保町1-32出版クラブビル6F

Email/info-2nd@jpo-center.jp

電話/03-3518-9860

直通/03-3518-9863

ファクシミリ/03-6273-7852

<https://jpro2.jpo.or.jp/>